

「訪問薬剤師」として 地域の医療を支えたい

アオノ薬局 葛西店

病院で処方された薬をもらう場所。薬局に対してそのようなイメージしか抱いていない人がほとんどではないだろうか。しかし、4月1日(木)に清砂大橋通り沿いにオープンしたばかりの『アオノ薬局 葛西店』は、それ以外にも地域にとって大きな役割を果たす薬局だ。どのようなサービスを行っているのか、同店管理薬剤師の植草光明さんに話を聞いた。

患者と家族に寄り添う 在宅医療チームの一員

アオノ薬局グループの薬剤師は、窓口での処方せん対応はもちろん、『訪問薬剤師』としての業務を担っている。病院ではなく在宅で診察などの処置を受ける患者のもとへ薬を届けたり、服用の指導をしたりするのが主な

綿密な情報共有で 一人一人をサポート

アオノ薬局の訪問薬剤師は、医師や看護師、ケアマネジャーなどからなる『担当者会議』や、退院の前に主治医と訪問診療を担当する医師の間で行う『退院時カンファレンス』などにも参加して、患者の情報を漏れなくインプットしている。

それ以外にも「日々の情報共有に注力しています」と植草さん。それは、「患者さんそれぞれの状態、性格などによって、ベストな対応が違うからチームで知恵、経験を結集して、最善策をとろうと努力しています」。最近では、オンライン上のネットワークを使って情報共有を行うシステムを

ローしたりすることも、大切な役割です」と植草さん。薬を届けるだけでなく、精神的な部分のケアまで行い、患者と家族に寄り添うのが、訪問薬剤師の仕事なのだ。

射などを使うケースが多いが、アオノ薬局 葛西店には、『クリーンベンチ』という無菌調剤可能な設備があるため、高カロリー輸液や医療用オピロイド注射液の調剤が可能。栄養剤の点滴治療や痛み止めの注射薬を準備できる環境が整っている。「訪問薬剤師のサービスを提供していることで、設備が整っていることで、新規オープンながら地域の多くの医療機関の皆さんから好意的に受け入れていただいています。

自身か薬をとりやすいように1日分ずつセットしたりと、薬を飲みやすい環境をつくっています。それ以外にも、日常生活で困っていることはないか尋ねたり、日々の介護に疲れている家族の話

を丁寧に聞いてフオ

在宅医療では、点滴や注

気軽にご相談ください」

